

# ▶ 『ファミリーツリー』

海辺のまちの、ちいさな家族の物語

## 実施 レポート

名取リーディングクラブ代表 相澤一成

# 『ファミリーツリー』

海辺のまちの、ちいさな家族の物語

この物語は、東日本大震災で被災した人たちの為に書かれた戯曲です。

## 多賀城公演

2017年に上演し大きな反響を呼んだ「ファミリーツリー」のドラマリーディング。実力派の仙台演劇人で再演しました。

2018年2月24日(土)。11時と14時からの2回公演。今回の公演は、多賀城市文化センター2017年助成事業に選ばれ実現したものです。



入場料 500 円、160 名程の地元の方々に観て頂きました。

「3.11 を記憶する企画として、永く続け再演して欲しい」というようなお言葉をたくさん頂きました。そして、「以前違う会場で観てまた観たくて来ました」という方も複数おりました。

「家族」がテーマのこの作品は、いつの時代のどの場所にもあるお話です。これからたくさんの沿岸地域の町に届けなければと感じました。



## 「あなたのオモイ それぞれのカタチ」

昨年も参加した仙台市宮城野区文化センター復興交流事業「あなたのオモイ それぞれのカタチ」に今回は演劇チームで参加しました。

2018年3月4日 パトナシアターにてドラマリーディングを行いました。



文化センターの職員の皆様のご協力で舞台を組み、とても素敵な空間で上演出来ました。入場無料。こちらにもたくさんの方に観てもらえました。

「演劇で被災地域の人々の心を少しでも軽くしたい」と思い始めたこの事業。いままでの公演で頂いたアンケートに「ありがとうございます」という言葉の多さにびっくりしています。

公演を通して知り合いになった皆様、いろいろ思い出話をして下さった皆様。豊かな人生は記憶した風景や思い出によって作られていると感じる時間でした。こちらこそ本当にありがとうございました。

# 『ファミリーツリー』

海辺のまちの、ちいさな家族の物語

この物語は、東日本大震災で被災した人たちの為に書かれた戯曲です。

## 閑上発表 & お茶会

2017年12月4日(月) 閑上中央第一団地C棟集会所にて、名取リーディングクラブが朗読劇「ファミリーツリー」を発表致しました。

当日は晴れ、閑上特有の浜風もなく過ごしやすい日でした。閑上のランドマークの一つ、五差路の歩道橋の解体も進んでいて、また一つ思い出の場所が無くなり寂しい気持ちになりました。

当日朝、物語の舞台となる日和山に集合し、皆でお参りをし、そこから見える風景を目に焼き付けてから会場に入りました。



今回は、団地で閑上サロンを運営している【名取市サポートセンター どっとなとり】さんが主催でこの場を設けて頂きました。

会場になった集会所は見晴らしもよく、暖かみのある空間で、とてもやりやすかったです。

その集会所に、団地の人を中心に25名のおんちゃん、おばちゃんたちが集まってくれました。



発表後、お茶会を開催。聴き手と読み手が入りまじり、感想や昔話に花を咲かせていました。仮設住宅で顔見知りになった人に再会した人、初めて会ったのに友達のように話す人、シニア世代のバイタリティーには脱帽です。とても賑やかなお茶会になりました。



メンバーには閑上出身者が3名います。今回、閑上の地で、閑上の話を、閑上の人たちに聴いてもらう。やはり特別な思いがありました。



今回の閑上発表を区切りとし、名取リーディングクラブの活動は一旦お休みになります。今までお世話になった皆様、本当にありがとうございました。

そして来年2月には、多賀城市文化センター助成事業として、俳優チームによるリーディング公演があります。この一年の活動の経験を活かし、さらにパワーアップした「高橋家」でお送り致します。ご期待ください。

## いしのまき演劇祭参加

2017年11月5日(日) IRORI 石巻にて、朗読チーム(名取リーディングクラブ)が朗読劇「ファミリーツリー」を発表致しました。

IRORI 石巻は、石巻の文化や情報を発信するカフェ兼イベントスペースです。

【いしのまき演劇祭】は今回で2回目。東京や県内から7団体が参加しています。私どもも沿岸地域に住む者同士、作品を通して交流出来ればと思ひ参加しました。



入場無料。特典予約(500円)のお客様には希望者には演劇祭ガイドブック+上演台本を進呈いたしました。

当日は石巻や近隣の町から観に来ていただき、用意した客席(30席)も満員となりました。

終演後には、読み手と聴き手の交流する時間を設け、市民同士の意見交換、心の交流が出来たと思います。

お客様から頂いた感想の一つを紹介します。「貴重な作品の台本をお送りいただき、ありがとうございました。リーディングクラブさんが上演された時も泣きましたが、今回も泣いてしまいましたね…。今でも、演者皆さんの様子が思い出されます。上手な方もいましたが、素人っぽい部分は多分にあり、学芸会のような雰囲気でもありましたが、紛れもなくみなさんが「高橋家」一族でした。作品の持つ力、そして、みなさんの作品に対する思いが聴く者をひきつけるのだと思います。名取リーディングクラブさんの、今後のますますのご活躍をご期待申し上げます。また、どこかで、お目にかかれればいいですね！」



メンバーにとっても、今回の石巻発表にかける思いは大きなものがありました。故に開演前は今までに無いくらいガチガチに緊張しておりました。しかしお客様の温かい視線に見守られ、次第に伸び伸びと朗読することが出来ました。ありがとうございました。



石巻河北新報社さんに取り上げて頂きました。

次回は12月4日(月)、念願の閑上発表です。  
閑上のお話を、閑上の地で、閑上の人たちに聴いてもらう。  
精一杯、物語に込めた気持ちを届けたいと思います。

# 『ファミリーツリー』

海辺のまちの、ちいさな家族の物語

この物語は、東日本大震災で被災した人たちの為に書かれた戯曲です。

## 塩竈発表

2017年8月30日(水)、塩竈公立図書館 会館 100周年記念 第14回 塩釜文楽館に、名取リーディングクラブがゲストとして参加しました。



会場は塩釜壱番館5階 遊ホール ホワイエ  
素敵な海辺の絵をバックに、50名程のお客様の前で朗読劇を披露しました。

13時 塩竈市長さんのご挨拶に始まり、第一部朗読劇「ファミリーツリー」、第二部 作・演出の相澤一成によるアフタートーク、第三部 絵本の朗読と盛りだくさんのイベントになりました。



地元の民謡「塩竈甚句」を唄う大竹さん。



アフタートークでは、真剣に聴いて下さる観客の真っ直ぐな目が印象的でした。

今回は、塩竈図書館の職員の皆さんに多大なるご協力をいただき、この発表が出来ました。メンバー一同お礼を申し上げます。



今回は、いしのみき演劇祭参加。  
 11月5日(日) 13時からIRORI石巻にて公演。  
 入場無料になりますので、是非ご来場ください。



河北新報社さんに取り上げて頂きました。

# 『ファミリーツリー』

海辺のまちの、ちいさな家族の物語

## 演劇チーム

キャストは、宮城県内で活動している実力派の俳優に出演をお願いしました。



## プレ公演

2017年4月22日(土)晴天。会場は【せんだい3.11メモリアル交流館】一階交流スペース。



ここは、東日本大震災を知り学ぶ為の場所であるとともに、みんなで、震災や地域の記憶を語り継いでいくための場所です。ここの物語を聞いてもらうのにふさわしいと思い企画

しました。

入場無料。約40名の方々に聴いてもらいました。震災前の町の写真や、漁業が盛んだっころの写真のスライド上映したりして、当時を懐かしんでもらいました。



## 仙台公演

5月19日(金)～21日(日)の3日間、4公演を行いました。入場料500円、4公演で約400名の動員でした。



## 名取公演

5月26日(金)27日(土)の2日間、2公演を行いました。入場無料、2公演で約230名の動員でした。こちらは定員をはるかに超える問い合わせを頂き、敷席や立ち見、ロビーに映像と音声を流して入場出来なかった人たちにも楽しんでもらいました。





毎日新聞 宮城県版

**古里舞台に戯曲上演**  
 名取・閉上出身 俳優の相澤一成さん  
 家族主題にメッセージ  
 市文化会館で26,27日「被災者励ましたい」

相澤一成さん。相澤一成さんは、宮城県名取市出身の俳優。代表作は『ファミリーツリー』など。今回の公演は、被災者への励ましを込めて制作された。相澤さんは、今回の公演を通じて、被災者への励ましを込めて制作された。相澤さんは、今回の公演を通じて、被災者への励ましを込めて制作された。

**東日本大震災 6年**  
 被災者への励ましを込めて制作された。相澤さんは、今回の公演を通じて、被災者への励ましを込めて制作された。

そして、ご支援を頂いた皆様、本当にありがとうございました。皆さんの支援がなければここまでの成功はありませんでした。この活動は引き続き行っていきます。皆さんもこの活動の今後の行く末を見守っててください。

ではまた。  
 相澤 一成

河北新報

**演劇**  
 「ファミリーツリー」の一場面  
 被災者の心 誠実に表現  
 家族の絆をテーマにした。相澤一成さん主演。今回の公演は、被災者への励ましを込めて制作された。相澤さんは、今回の公演を通じて、被災者への励ましを込めて制作された。

## 今後の活動

演劇チームは一区切りつきましたが、7月より朗読チームの練習が再スタートします。8月30日(水)に塩竈で発表、11月には石巻演劇祭に参加が決まっております。他調整中の企画もあります。今後、一つでも多くの沿岸の町にこの物語を届けられるよう努力していきます。

# 『ファミリーツリー』

海辺のまちの、ちいさな家族の物語

この物語は、東日本大震災で被災した人たちの為に書かれた戯曲です。

## 朗読チーム

宮城県の沿岸地域、名取、塩釜、亶理、仙台の市民有志が集まって立ち上げたのが、朗読ボランティア団体「名取リーディングクラブ」です。

2016年秋より月2回の練習を行い、2017年3月の発表に準備してきました。メンバーは17名。50代、60代、70代のシニア世代が中心です。



## 名取市美田園第一仮設住宅での、朗読発表&お茶会

2017年3月2日(木)仮設住宅集会所で行われました。肌寒い天気でしたが50名ほどの人が集まりました。仮設で暮らす人、仮設を卒業した人、閑上出身の人、市の職員、ボランティア活動をしている人などいろんな方に聴いて頂きました。

地元の話、家族のあるある話、夫婦間の遠慮ない物言いにたくさんの笑いが起きました。そして最後は皆涙をこぼしておりました。



上演後のお茶会では、読み手と聴き手がお茶を飲みながら意見交換をし、楽しく故郷の話、ダメな家族の話、そして苦労話などを楽しそうに話しておりました。最後には地元の民謡「閑上大漁節」を皆で歌い、踊りだすご婦人方もいて大盛況のうちに会を終えることが出来ました。

その後、市の復興担当職員や他のボランティア団体の方たちと交流もでき、これから連携して被災者の心の復興を目指していこうという話も出来ました。



## 震災復興事業「あなたのオモイ ころのカタチ」に参加

2017年3月4日(土)5日(日)の2日間、仙台市宮城野区文化センター主催の復興イベントの一つとして朗読劇を発表しました。

1日目は50名弱、2日目は60名ほどのお客様に聴いて頂きました。NHK【ラジオ深夜便】で告知して頂いたこともあり、福島や青森からわざわざ来てくださった方もおりました。



「家族の日常会話が楽しく、自分にも思い当たることがたくさんある」「観ながら家族の事を思い出した」「今生きているうちに、大切なことは伝えておかなきゃいけないんだと気づかされた」「これはヤバイやつだ」と泣きながら帰ったお客様もおりました。



## NHK【ラジオ深夜便】で特集

2017年3月13日(月)ラジオ深夜便の「明日へのことば」というコーナーで朗読風景、私相澤の作品に込める想い、そして今後の活動を紹介して頂きました。

放送後、たくさんの人から「台本を読みたい」という問い合わせがありました。

## 今後の展開

2017年3月19日に名取リーディングクラブの振り返り会があり、どんな反応があったか、反省点、発表を通して何を感じたか、メンバー一同溢れる思いをしゃべっているうちにあっという間に時間が来てしまいました。そこで、来年度も引き続き練習し発表していくことになりました。大まかな予定ですが、夏に塩釜。秋に石巻と名取での発表を計画しております。



## 演劇チーム始動しました！

そして3月2日より演劇チームの稽古も始まりました。こちらは宮城県内で活動している俳優さん達です。



4月22日にプレ公演として「せんだい3.11メモリアル交流館」にてドラマリーディング(入場無料)を行います。こちらは次回の実施レポートでご報告したいと思います。

今後も、被災地域の人たちの為にこの『ファミリーツリー』という物語を届けていきたいと思ひます。

支援者の皆様、ありがとうございました。